

伊藤先生の
街かど診療室
Q & A

ロービションとは

今回は、もし見えなくなったら、というところに焦点をあてます。

眼科では、日々患者さんの視機能の向上もしくは温存に焦点をあてて治療計画を立てます。

しかしながらすでに視機能が回復困難な状況に落ち入っていたり、治療の甲斐なく視力が低下してしまう患者さんもあります。私のような手術に活路を見出す医師は、助けられない状況に何か手はないかと足掻きますが、すでに神経が変性してしまった等どうしても助けられない

と判断した際に、その患者さんの人生の続きを考え、ロービション外来への受診をお勧めします。同時に私自身が救われる気持ちになったのを覚えていきます。

見えづらくなったり、日常生活にどのような向き合えるか、どのようなツールを使用しているかなど総合的に判断し、教育・指導してくれるのがロービション外来になります。

現在のロービションリハビリテーションは、デジタルの恩恵を受け、使いやすく運びやすく、将来の人生を頑張りた多くの視覚障害者が行動範囲を拡げやすくなりました。全盲の人が、タブレット一つで世界一周した話を学会で聞いた時は、とても感動しました。

伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

☎ 042-439-8123
西東京市北町 1-6-1
レッツビルディング 3F
<http://www.itoganka.com/>
■科目：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療
■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先



	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／